

Chiba Weekly Report

2018

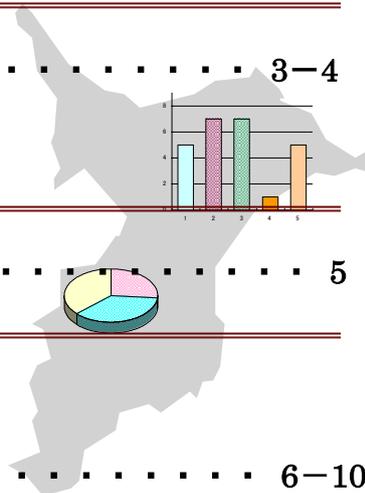
— 第 42 週 — 2018/10/15～2018/10/21

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

麻疹・感染性胃腸炎



全数報告疾患集計表 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2018年 第42週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数=報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	42週	41週	40週	39週	38週
小児科	小児科定点医療機関数			135	135	134	135	132
	RSウイルス感染症		習志野(1.5)、夷隅(1.3)、船橋市(1.2)	0.53 72	0.72 97	0.96 129	0.73 99	1.14 150
	咽頭結膜熱			0.27 36	0.26 35	0.48 64	0.24 32	0.35 46
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		船橋市(3.3)、松戸(3.2)、柏市(2.6)	1.73 234	1.44 195	1.82 244	1.48 200	1.45 192
	感染性胃腸炎		海匝(5.8)、山武(5.7)、柏市(3.7)	2.87 387	2.52 340	2.60 349	2.04 275	2.69 355
	水痘			0.21 29	0.19 26	0.22 30	0.16 21	0.19 25
	手足口病		海匝(3.3)、松戸(2.4)、市川(2.0)	1.35 182	1.24 168	1.42 190	1.07 144	0.91 120
	伝染性紅斑		市原(1.3)、習志野(1.1)、船橋市(1.1)	0.54 73	0.56 76	0.71 95	0.39 53	0.39 51
	突発性発しん			0.37 50	0.37 50	0.46 62	0.30 41	0.37 49
	ヘルパンギーナ		習志野(2.4)、市原(1.1)	0.47 64	0.47 64	0.85 114	0.61 83	0.54 71
	流行性耳下腺炎			0.15 20	0.13 18	0.13 17	0.03 4	0.12 16
インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			215	215	213	214	210
	インフルエンザ		柏市(1.7)	0.23 50	0.25 53	0.24 51	0.18 38	0.09 18
眼科	眼科定点医療機関数			35	35	35	35	35
	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.03 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎		安房(6.0)、野田(2.0)、印旛(2.0)	0.97 34	0.97 34	1.14 40	1.17 41	1.20 42
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎		5歳未満3例、5～9歳2例、10～14歳1例	0.67 6	0.33 3	0.33 3	0.11 1	0.44 4
	無菌性髄膜炎		5歳未満1例、40代1例	0.22 2	0.22 2	0.22 2	0.22 2	0.33 3
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
全数	風しん		千葉県6例、習志野3例、松戸2例、船橋市2例、印旛2例、柏市1例、海匝1例	17	15	23	17	19
	麻疹		松戸5例、印旛1例	6	6	2	1	0

備考

増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

※全数届出の項目は、診断日と報告日が異なるため、数字が変動することがあります。

【今週の注目疾患】

【麻しん】

2018年第42週に県内医療機関から6例の麻しんの届出があり、2018年の累計は第42週までに21例となった。第42週に届け出られた6例は、第39週に届出のあった先行事例(初発事例)との接触による2次感染例に加え、その2次感染例との接触による症例(3次感染例)も含まれる(表1)。

表1:2018年千葉県内の麻しん届出状況

No.	保健所	性別	年齢	病型	診断日	診断週	接種歴		遺伝子型	備考	
							1回目 (年齢)	2回目 (年齢)			
1	印旛	男	20歳代	麻しん(検査診断例)	5月15日	20週	不明	不明	B3		
2	印旛	女	10歳代	麻しん(検査診断例)	6月29日	26週	無	無	D8		
3	松戸	男	30歳代	麻しん(検査診断例)	6月30日	26週	無	無	D8		
4	安房	女	10歳未満	麻しん(検査診断例)	7月1日	26週	有	1	不明		
5	印旛	男	10歳未満	麻しん(検査診断例)	7月4日	27週	有	9	無	No.2の弟	
6	印旛	男	10歳代	麻しん(検査診断例)	7月7日	27週	有	5	有	No.2の兄	
7	松戸	女	10歳代	麻しん(検査診断例)	9月26日	39週	無	無	B3		
8	松戸	女	20歳代	麻しん(検査診断例)	10月7日	40週	有	28	無	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
9	松戸	男	10歳未満	麻しん(検査診断例)	10月7日	40週	有	1	無	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
10	松戸	女	10歳未満	麻しん(検査診断例)	10月9日	41週	無	無	B3	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
11	松戸	男	10歳未満	麻しん(検査診断例)	10月9日	41週	無	無	B3	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
12	松戸	女	20歳代	麻しん(検査診断例)	10月11日	41週	有	27	無	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
13	松戸	女	40歳代	修飾麻しん(検査診断例)	10月12日	41週	有	不明	B3	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
14	松戸	女	30歳代	修飾麻しん(検査診断例)	10月13日	41週	有	無	B3	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
15	印旛	女	20歳代	麻しん(検査診断例)	10月14日	41週	不明	不明	B3	No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
16	松戸	男	30歳代	修飾麻しん(検査診断例)	10月15日	42週	不明	不明		No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
17	松戸	男	80歳代	修飾麻しん(検査診断例)	10月16日	42週	不明	不明		No.7の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
18	松戸	男	20歳代	麻しん(検査診断例)	10月16日	42週	有	1	有	調査中	
19	印旛	女	10歳未満	麻しん(検査診断例)	10月18日	42週	無	無		No.15の家族	
20	松戸	女	10歳未満	麻しん(検査診断例)	10月20日	42週	無	無		No.11の医療機関受診時に当該医療機関に滞在	
21	松戸	男	30歳代	修飾麻しん(検査診断例)	10月21日	42週	有	有	30	B3	No.11の医療機関受診時に当該医療機関に滞在

麻しんの感染力は非常に強く、空気感染により直接の接触がなくても空間の共有によって感染伝播が成立するため、麻しんを疑う症状が現れた場合は、医療機関を受診する前に医療機関に電話連絡でその旨を伝え、医療機関の指示に従った受診が必要である。また同様に周囲への感染を防ぐため、公共交通機関等の利用を避けることも重要である。麻しんはワクチンにより予防可能な疾患であり、2回の定期接種を受けることでリスクを最小限にすることが出来る。また、不特定多数と接触する職業等に従事する方は、麻しんを発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあり、定期接種を2回受けていない場合や予防接種歴が不明な場合は、かかりつけ医などに相談の上、予防接種を検討しましょう。

【感染性胃腸炎】

2018年第42週に県内定点医療機関から報告された感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、定点当たり2.87(人)であった(図)。感染性胃腸炎のサーベイランスはウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス、エンテロウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス、サポウイルス等)、細菌(下痢原性大腸菌、サルモネラ、カンピロバクター、腸炎ビブリオ等)や原虫・寄生虫(クリプトスポリジウム、ジアルジア等)など多種多様な病原体によるものを含みうる。そのため、発生に一定の疫学パターンを示さないこともありうるが、主要な原因病原体であるノロウイルスによる感染性胃腸炎が冬に流行を示し、秋口から報告が増加する傾向が見られる。2007/08シーズン以降の過去10年の動向を振り返ると、早いシーズンには第44週に定点当たり報告数5.0人を超え、またピークは例年第50週前後であった(表2)。

図：千葉県内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

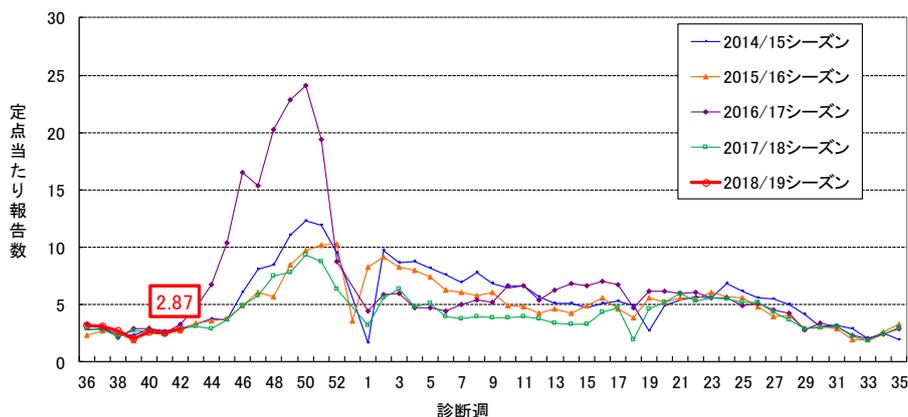
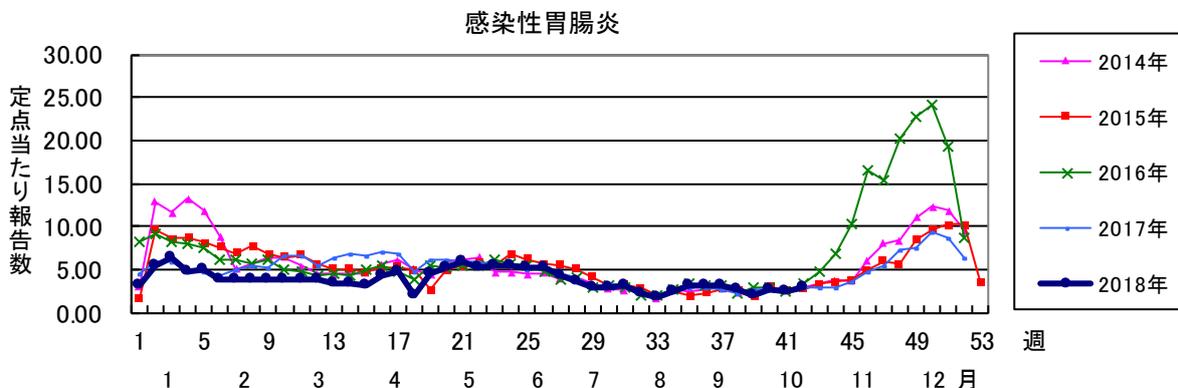
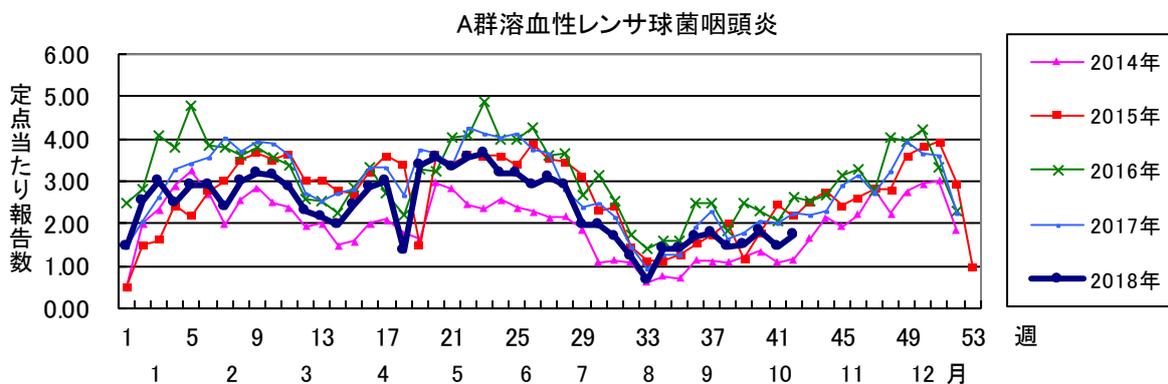
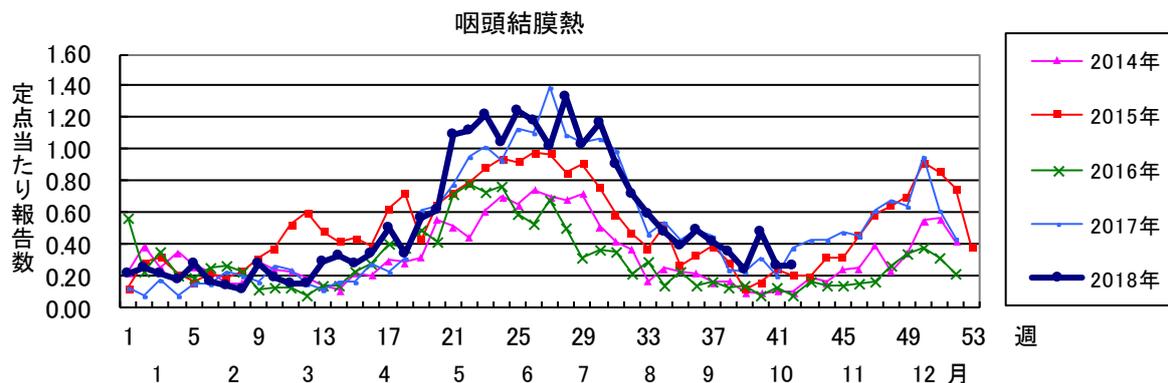
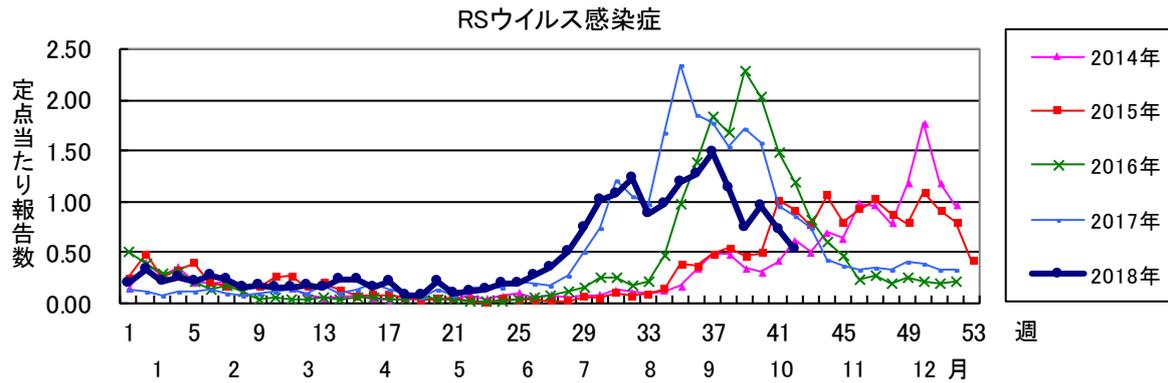
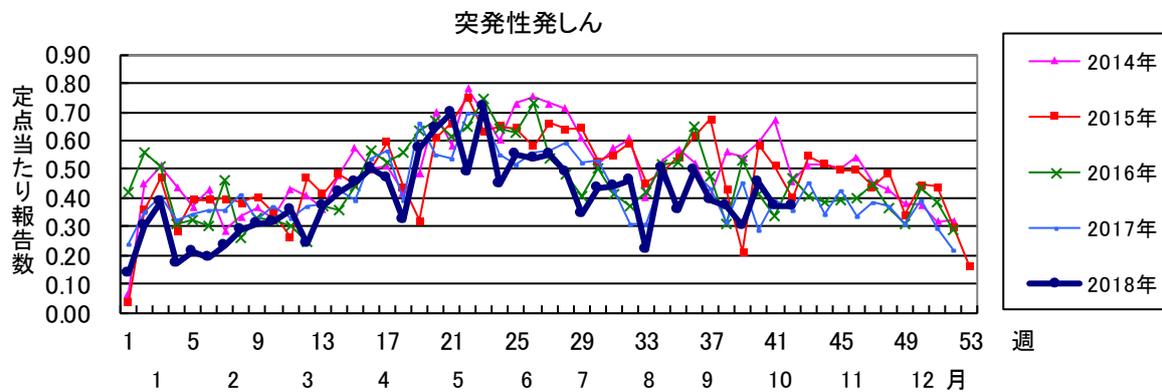
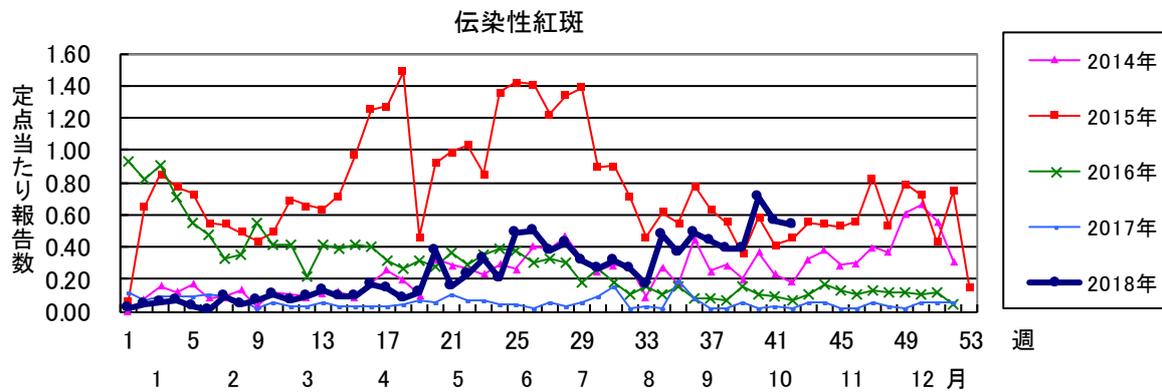
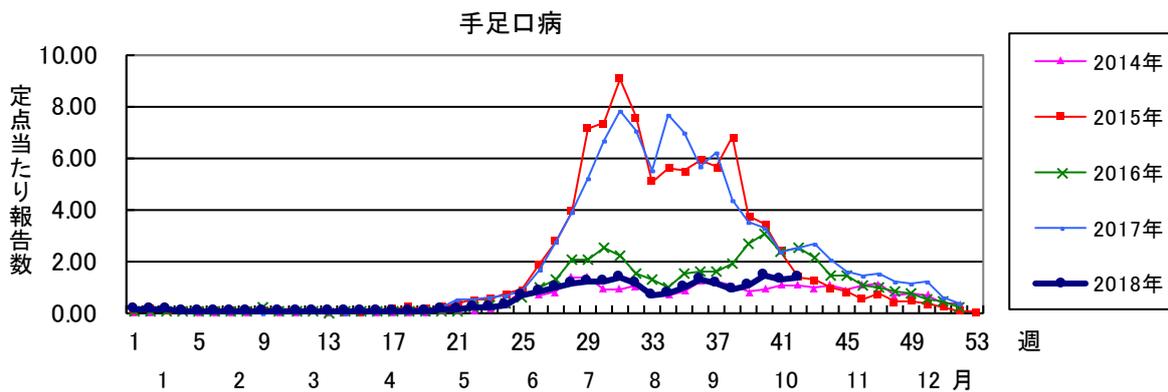
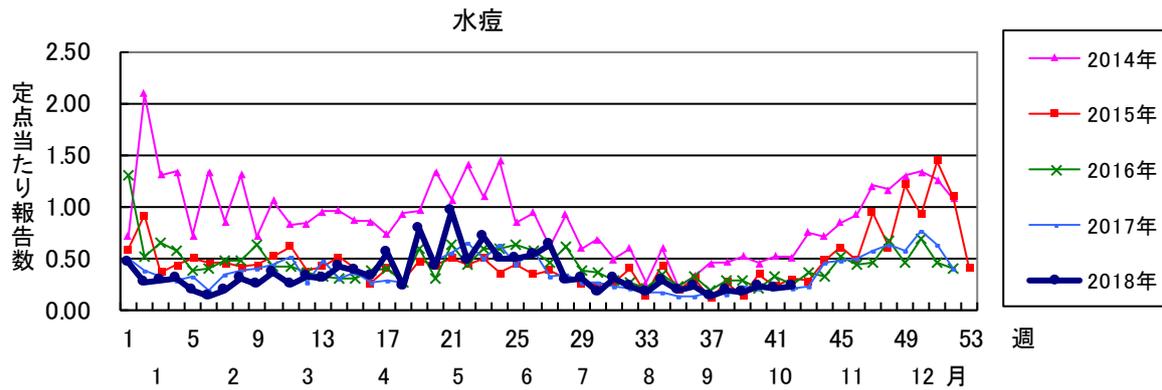


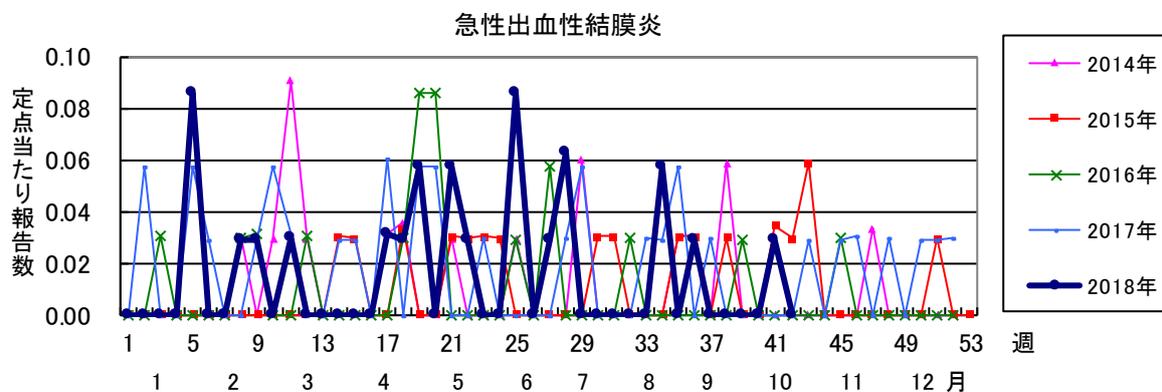
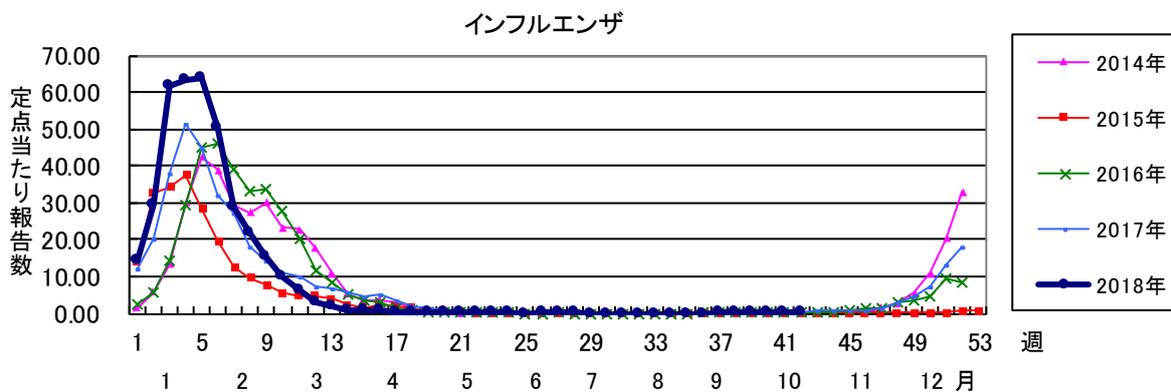
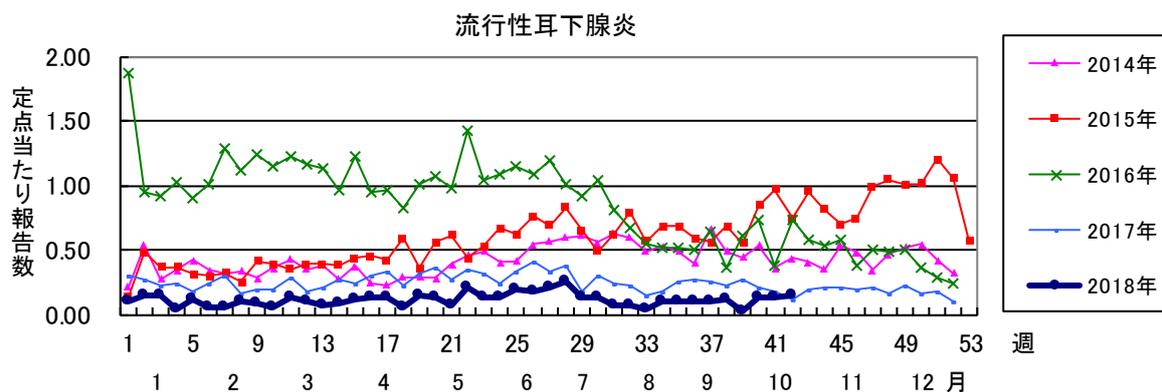
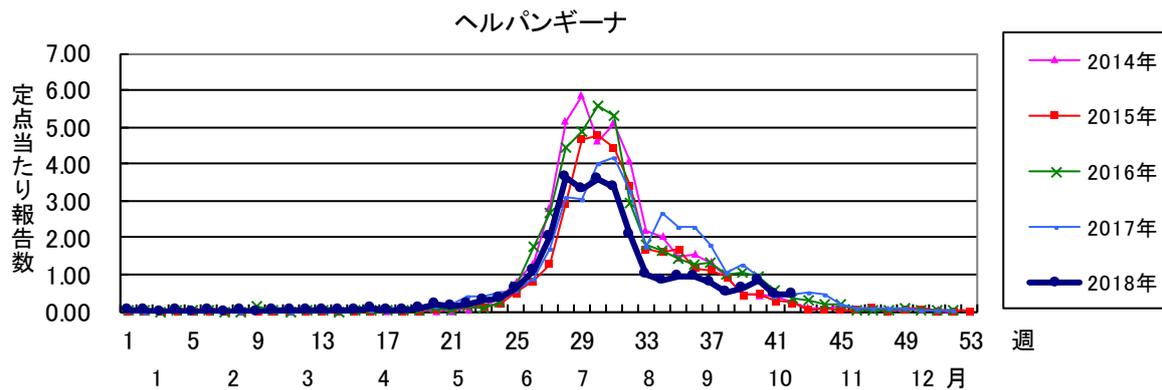
表2：2007/08～2017/18シーズンにおける、県内定点医療機関から報告された感染性胃腸炎の動向

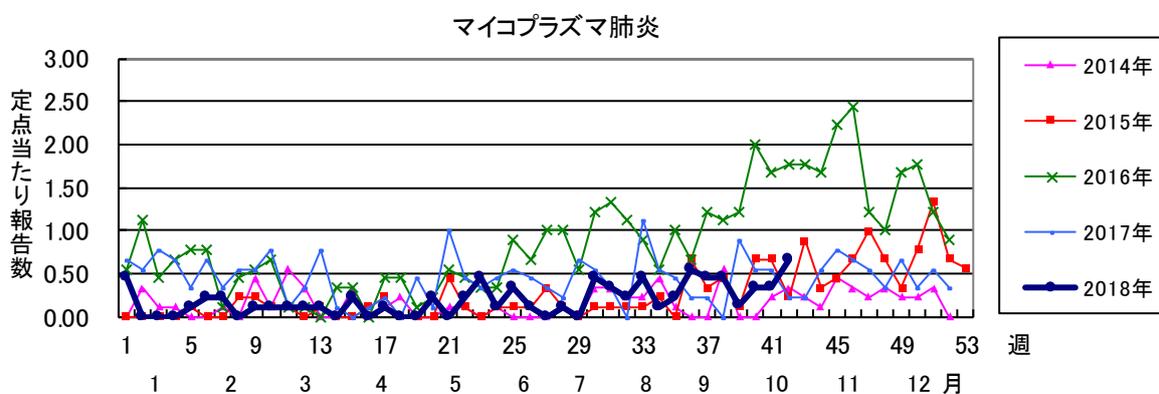
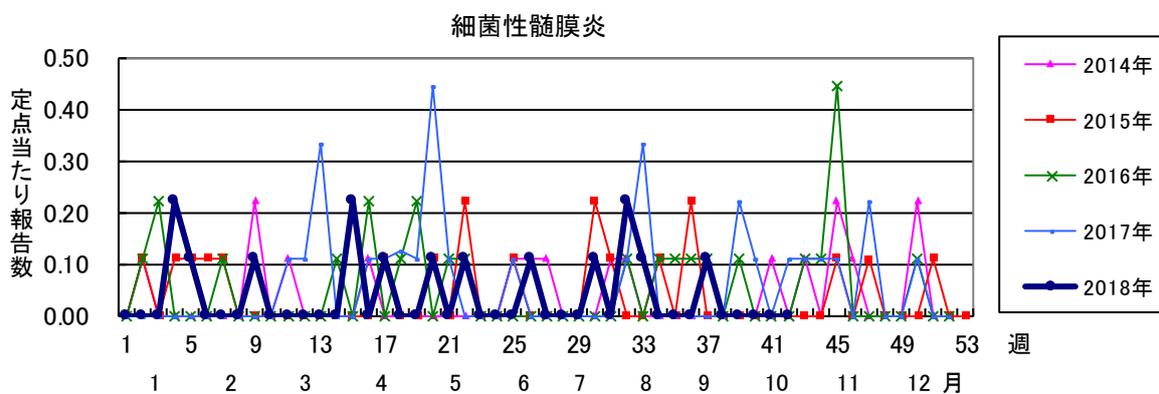
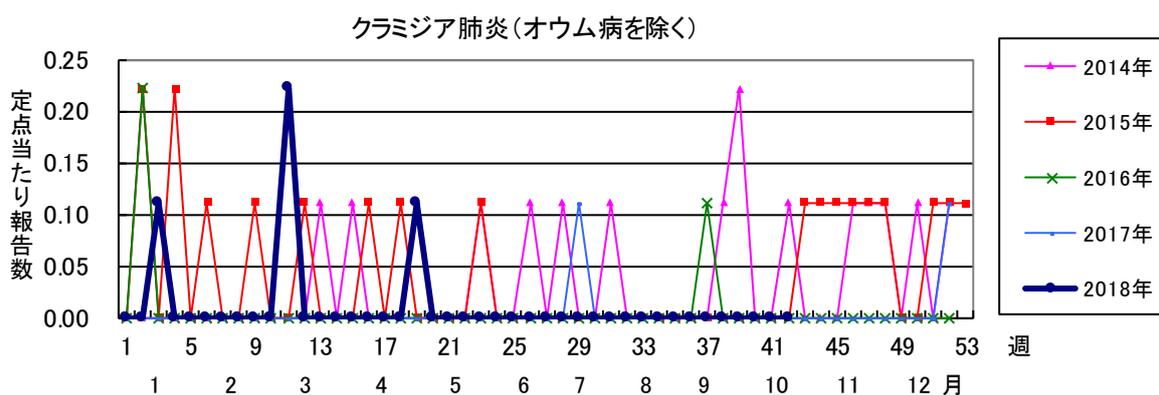
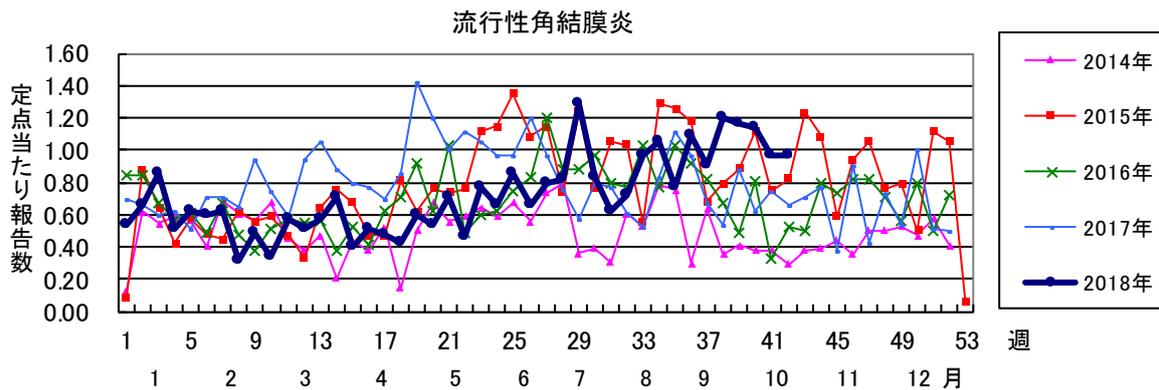
	定点当たり報告数 5.0人を超えた週	定点当たり報告数 10.0人を超えた週	定点当たり報告数 20.0人を超えた週	ピーク週（当該週の定 点当たり報告数）
2007/08	第47週	第48週	第51週	第51週（21.7人）
2008/09	第47週	第49週	—	第51週（19.4人）
2009/10	第52週	第1週	—	第3週（18.5人）
2010/11	第45週	第46週	第50週	第50週（21.3人）
2011/12	第48週	第50週	—	第51週（15.5人）
2012/13	第45週	第47週	第48週	第49週（24.4人）
2013/14	第47週	第48週	第50週	第51週（23.7人）
2014/15	第46週	第49週	—	第50週（12.3人）
2015/16	第47週	第51週	—	第52週（10.2人）
2016/17	第44週	第45週	第48週	第50週（24.1人）
2017/18	第47週	—	—	第50週（9.3人）

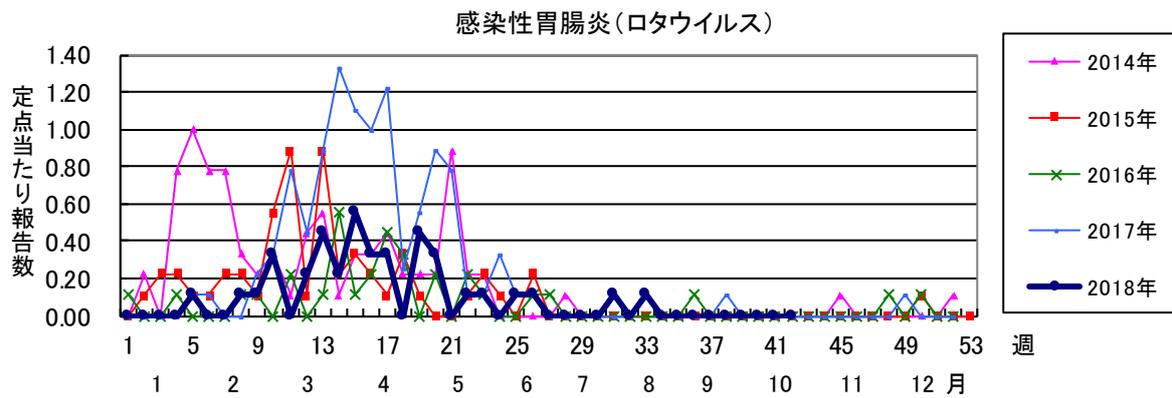
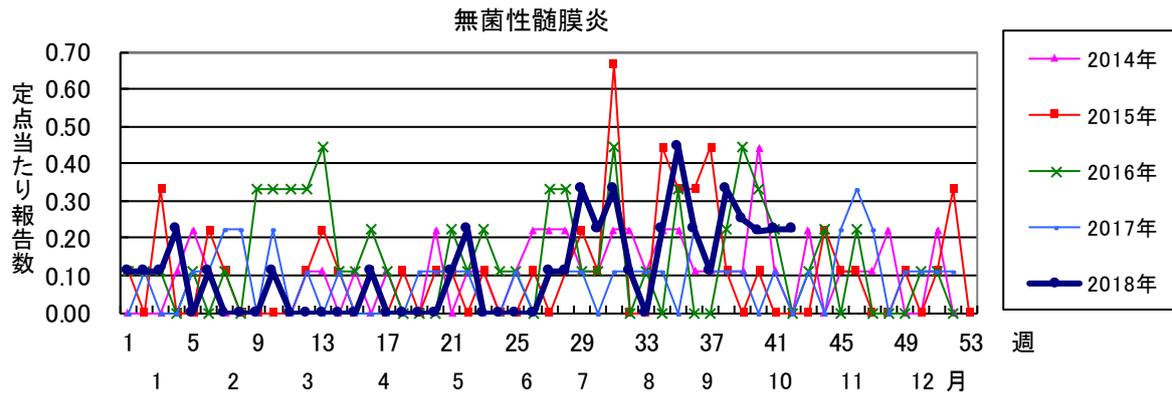
予防には食品の十分な加熱、手洗いの励行や患者との濃厚接触を避けることなどが重要である。病原体により、消毒にアルコールが有効なもの、次亜塩素酸ナトリウム（使用にあたっては「使用上の注意」を確認）が有効なもの、熱による消毒が必要となるものなど様々であるが、本感染症の原因となりうる病原体の多くがヒトーヒト感染しうるため、患者発生時には家族内や施設内での二次感染の防止に注意する必要がある。











2018年 第42週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.1

		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計	
小児科定点数		4	9	16	12	11	10	18	16	3	4	6	4	3	4	8	7	135	
RSウイルス感染症	～5ヶ月			4			4		2		1			1				12	
	～11ヶ月		2	6	3	2	3		2				1	3	1			23	
	1歳		2	3	2	4	3	2	1										17
	2歳					4	3		2		1								10
	3歳					2	1		1			1							5
	4歳						1	1	1										3
	5歳					1			1										2
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20歳以上																		
合計		4	13	5	13	15	3	10		2	1	1	4	1				72	
咽頭結膜熱	～5ヶ月																		
	～11ヶ月															2		2	
	1歳		1	1		1					1							4	
	2歳					2											1	2	
	3歳			2	1	1	1											6	
	4歳		4		1	1	1	1	4		1							13	
	5歳		2			1												3	
	6歳				1	2												3	
	7歳		1															1	
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳								1									1	
	15～19歳																		
	20歳以上								1										1
合計		8	3	3	8	2	3	4		2					2	1		36	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	～5ヶ月																		
	～11ヶ月							2	3									6	
	1歳	1	3	1				2	2									9	
	2歳		2	3	1	2		1	1	1			1					12	
	3歳			2		2		2	1	1								8	
	4歳	1		11	3	2	1	3	1		1	1						24	
	5歳		2	11	5	4	5	2	2		1	1			3			36	
	6歳		3	7		5	2	4	11				1		1			34	
	7歳		3	4	2	4	2	2	5			1			1	1		25	
	8歳		4	4	2	6	1		3		1		4		2			27	
	9歳		1	1	1	7	1	1	1				1			1		15	
	10～14歳		3	5		3	4		4				1				2	22	
	15～19歳				1				1										2
	20歳以上		2	1		1			1	2		3	2			2			14
合計	2	23	51	15	36	16	19	35	4	4	6	10	7	4	2			234	
感染性胃腸炎	～5ヶ月								1									1	
	～11ヶ月	1	1	7	5		5	14	5		2		1		2	1	1	45	
	1歳		4	10	11	2	12	6	6		2	3			1	2	2	61	
	2歳			8	4	3	1	11	1		1	3	1					33	
	3歳	1	3	4	2	3	1	2	3		2				1	3		25	
	4歳		4	8	2	1	1	4	2		2	2			1	1		28	
	5歳		3	4	2	5		11	1		2				1	1		30	
	6歳	1		4	3	4	1	3	7		3	1			1			28	
	7歳			5	2	2	2	2	3		1	2						19	
	8歳		2		1	5	1	2	2		2	1	1		1	1		19	
	9歳		2	1	1	3			1		1	2			1			12	
	10～14歳		2	2		4	1	4	4		4	10			1	3		35	
	15～19歳		2			1					1							4	
	20歳以上	1	10	5	4	1	1	1	3	1		10	2	4		1	2	46	
合計	4	33	58	37	34	26	60	39	1	23	34	5	4	6	9	14	387		

2018年 第42週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.2

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数		4	9	16	12	11	10	18	16	3	4	6	4	3	4	8	7	135
水痘	～5ヶ月								1									1
	～11ヶ月					1												1
	1歳					1												1
	2歳								2									2
	3歳			1													1	2
	4歳									1								1
	5歳		1							1			1					3
	6歳							1					1					2
	7歳	1		1	1			1		1						2		7
	8歳			1		1				1								3
	9歳									1								1
	10～14歳					1	1				1				1	1		5
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		1	1	3	1	4	3		8		1	2			1	3	1	29
手足口病	～5ヶ月																	1
	～11ヶ月		1	2	2	1	1											1
	1歳		6	18	6	4	1	14	7	2	6							1
	2歳		3	8	4	1	1	3	2	1	5				1		1	30
	3歳		1	7	3	2	3	7	3								3	29
	4歳		1		2	2	3	2			1				2		1	14
	5歳			3	2	1	2	3	1									1
	6歳	2			1	3	2				1							9
	7歳	1			2	1	3											7
	8歳				1	1				1								3
	9歳																	
	10～14歳				1	1				1								3
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		3	12	38	24	17	16	29	15	3	13				1	2	9	182
伝染性紅斑	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳		2	2		1						1						6
	2歳				1	2		1					1					5
	3歳		1	1		1	1	4	1								1	10
	4歳		1	2		2	1	1		1							4	12
	5歳			3	1	2	2	1	1								2	12
	6歳		3	1		1	5	3				1					2	16
	7歳					2		1										3
	8歳									2								2
	9歳		1				1	1								1		4
	10～14歳			1		1	1											3
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		8	10	2	12	11	12	2	3		2	1			1	9	73	
突発性発しん	～5ヶ月										1					1		2
	～11ヶ月		4	2	1			3	1		1	1				2		15
	1歳		3	5	2	1		9				2					1	23
	2歳			1				2	1			1					2	7
	3歳			1	2													3
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		7	9	5	1		14	2		2	4				3	3	50	

2018年 第42週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.3

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	市	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
小児科定点数		4	9	16	12	11	10	18	16	3	4	6	4	3	4	8	7	135	
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																1	1	
	～11ヶ月					2	1	1	2									6	
	1歳				1	1	7	2	5						1			17	
	2歳				1	3	5	4			1						4	18	
	3歳					1	2		2									5	
	4歳						1											1	
	5歳						2						1					3	
	6歳					1		1	2									4	
	7歳						1											1	
	8歳						1										1	2	
	9歳						2											2	
	10～14歳																2	2	
	15～19歳							1											1
	20歳以上							1											1
合計				2	8	24	8	11			1	1		1		8		64	
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																		
	～11ヶ月																		
	1歳								1									1	
	2歳							1	1									2	
	3歳						1	1	1									2	
	4歳						1	1	1									2	
	5歳			1		1	1	2		1								5	
	6歳							1									1	2	
	7歳			1					1									2	
	8歳						1	1	2		1							5	
9歳																			
10～14歳																1	1		
15～19歳																			
20歳以上																			
合計			2			3	3	8		2						2		20	

2018年 第42週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計	
インフル定点数		7	14	25	19	17	16	28	24	6	7	9	7	5	7	13	11	215	
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月		1															1	
	1歳								1									1	
	2歳																	1	
	3歳		1															1	
	4歳		1									1						2	
	5歳		2									1						3	
	6歳		4						1						1			5	
	7歳		4															4	
	8歳		3																3
	9歳		2				1												3
	10～14歳		1						5										6
	15～19歳								1	1	1					1			4
	20～29歳		1			1				1			1						4
	30～39歳		1	1					2				1						4
	40～49歳		3			1					1								5
50～59歳												1						1	
60～69歳																		1	
70～79歳			1															1	
80歳以上			1						1									2	
合計		24	3	2		1	8	5	2		4		1					50	
眼科定点数		1	2	5	3	3	3	5	4	1	1	1	1		1	2	2	35	
急性 出血性 結膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳																		
	30～39歳																		
	40～49歳																		
50～59歳																			
60～69歳																			
70歳以上																			
合計																			
流行性 角結膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳								1									1	
	2歳								1						1			2	
	3歳																	2	
	4歳			2														2	
	5歳														1			1	
	6歳																	1	
	7歳						1											1	
	8歳			1	1													2	
	9歳								1						1			2	
	10～14歳	1							1									2	
	15～19歳																	1	
	20～29歳			1														1	
	30～39歳			2	1				1						1		1	6	
	40～49歳			1	2			1							2		1	7	
50～59歳	1						1										2		
60～69歳				1				2									3		
70歳以上				1				1									2		
合計	2	8	5		1	2	8							6		2	34		

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2018年 第42週

発行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。